コレハ北支方面カラ入ツタ言葉カモ知レナイ。初夏ニハコノ葉柄ノ若イモノヲ採ツテ來テ蔬菜トシテ市場ニ出ス。鷄頭竿トモ云ヒ鷄頭菜トモイフ。皮ヲ剝イテ食用ニスルノデアル。

南日本植物雜報(其二) (土井美夫)

○九州南部ノやぶまを屬植物

九州產ノやぶまを屬ノ種類ニ關シテハ先年佐竹博士ガ本誌第14卷第8號ニ發表セラレタ。然シ同博士モ記サレテキルヤウニ九州南部ノ材料ハ北九州ノモノニ比ベテ少イ。ソレデココニ筆者ノ採集品ヲ主ニシタ南九州產ノ本屬種類ヲ列擧シタ。佐竹博士ノ前記論文ト併讀セラレ九州產本屬植物ノ全貌ガ一層明カトモナレバ幸甚デアル。標品ノ大部分ハ木村陽二郎氏ヲ通ジテ佐竹博士ノ同定ヲ又一部ハ京大ノ大井博士ノ同定ヲ煩シタモノデアル。附記シテ三氏ノ御厚意ヲ深謝シマス。尙產地ノ次ニ記セル番號ハ筆者ノ標品番號デアル。

Boehmeria frutescens THUNB. からむし
　薩摩: 東市來 (n. 9045, n. 20274) 大隅: 大始良 (n. 10290)

B. spicata THUNB. こあかそ
　薩摩: 下伊集院 (n. 20267)

B. egregia SATAKE しまながばやぶまを
　大隅: 佐多 (n. 20275)

B. Sieboldiana BL. ながばやぶまを
　薩摩: 紫尾山 (n. 20241, n. 20273) 阿多 (n. 9050) 野間岳 (n. 20246)
　甑島尾岳 (n. 20237) 同瀨尾 (n. 20240) 同滕山 (n. 20238)

B. formosana HAYATA たいわんとりあし
　薩摩: 磯間岳 (n. 9046) 大隅: 大始良 (n. 10235) 屋久島 (n. 10224, n. 20021, n. 20271)

B. pseudo-Sieboldiana HONDA いぬやぶまを
　薩摩: 三笠 (n. 20020, n. 20270) 磯間岳 (n. 9047) 阿多 (n. 9050)
　大隅: 甫與志岳 (n. 9051)

B. stenostachya SATAKE ほそばやぶまを
　大隅: 高隈山 (n. 20260) 肥後: 內大臣山 (n. 20259)

B. arenicola SATAKE はまやぶまを
　薩摩: 甑島里 (n. 20242) 日向: 內海 (n. 20236)

B. minor SATAKE こやぶまを
　薩摩: 阿多 (n. 20247)

B. kiusiana SATAKE つくしやぶまを
　薩摩: 山崎 (n. 9048) 串木野 (n. 20257) 吉利 (n. 20256, n. 20258)

B. pannosa NAKAI et SATAKE さいかいやぶまを
　薩摩: 東市來 (n. 9052) 串木野 (n. 20243) 田布施 (n. 10294) 甑島手打 (n. 20239)

B. hispidula BL. うすばおにやぶまを

大隅：　霧島 (n. 20272)

B. hirtella SATAKE? けながばやぶまを

大隅：　奄美大島 (n. 20255)

B. Maximowiczii NAKAI et SATAKE　おほめやぶまを

薩摩：　伊作 (n. 20248)　冠岳 (n. 20276)　花尾岳 (n. 20277)　紫尾山 (n. 20278, n. 20279)

大隅：　高隈山 (n. 20249, n. 20280)

B. robusta NAKAI et SATAKE　まるばやぶまを

薩摩：　伊作 (n. 20263)

B. holoserisea BL.　おにやぶまを

薩摩：　伊集院 (n. 20262, n. 20269)　大隅：　大姶良 (n. 10293)

B. platanifolia FR. et SAV.　めやぶまを

薩摩：　山野 (n. 20251A)　日向：　野尻 (n. 20251B)

B. longispica STEUD.　やぶまを

薩摩：　金峯山 (n. 9049)　入來 (n. 9053)　冠岳 (n. 20245)　吉利 (n. 20261)
　　　　鹿兒島 (n. 20244)

以上18種デソノ中九州ノフロラニ新ニ加フベキモノハしまながばやぶまを・うすばおにやぶまをノ 2 品デアルガ後者ハ完全標品デナイノデ再檢ヲ要スル。又九州南部ニ新キモノトシテハ前記 2 品ノ他こやぶまを・つくしやぶまを・まるばやぶまを・ほそばやぶまを・けながやぶまを? ノ 5 品デアル。

○つくしにれニ就テ

つくしにれハ牧野博士ガ本誌第 6 卷第 1 號歐文欄 5 頁ニ發表ニナツタモノデソレニヨルト英文デ“小形ノ葉ヲ有スル落葉樹”“記載ハ次號ニ言及ス”ト記サレテヲリ產地ハ大隅國昭和 3 年採集トナツテキル。然シ其後ノ發表ハナイ。南九州ノ植物ニ關心ヲ有スル筆者ハ牧野博士ヲ案內サレタ當時ノ熊本營林局技手 荒川 潔氏ノ御厚意ニヨリつくしにれナルモノノ一部 (成葉ヲ有スル一ト枝) ヲ分與サレ倘該品ハ大隅國內之浦町岸良產ノモノデアルコトヲ知ツタ。昭和 5 年 3 月 8 日筆者ハ內之浦營林署ヲ訪レ同署ノ厚意ニヨリ上山仙朗氏ノ案內ヲ得つくしにれノ原木 (一抱ヘヨリ遙ニ大ナル喬木) ト思ハレルモノヨリ花ヲ採リ後日更ニ成果品・幼葉品・成葉品トソレゾレ多量ニ入手スルコトガ出來タ。コレヲ南九州各地ヨリ蒐集シタ多數ノはるにれト比較觀察シテミルト葉ニ就テハ區別スベキ點ヲ見出シ得ナカツタ。倘內之浦町岸良產ノモノハ京大ノ小泉教授ノ許ニ送附シ同定ヲ御願シタ處はるにれト差異點ナシトノコトデアツタ。一般ニはるにれノ葉ハ多型的デアツテ形狀・大小・毛ノ多少等ハ色々變化ニ富ンデキル。從ツテつくしにれハはるにれノ葉ノ小形ノ一型ニ過ギナイモノト考ヘラレル。

Ulmus Davidiana PLANCH. var. **japonica** NAKAI = *Ulmus japonica* (non SIEBOLD) SARGENT = *Ulmus propinqua* KOIDZUMI = *Ulmus Kijimana* MAKINO, Jour. Jap. Bot. Vol. VI, p. 5 (1929), syn. nov.